

分担研究報告書

油症検診受診者における黄斑疾患

研究分担者 上松 聖典 長崎大学病院眼科 講師

研究協力者 北岡 隆 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 眼科・視覚科学分野 教授

研究要旨：加齢黄斑変性は酸化ストレス等が原因になることが知られており、油症患者における黄斑疾患の進行について調査した。昨年度黄斑疾患のなかった対象者で新たに黄斑疾患を生じた受診者はいなかった。また、昨年度加齢黄斑変性等の黄斑疾患を有していた対象者で黄斑疾患が進行した受診者はいなかった。今回の調査で油症患者において黄斑疾患が進行しやすいという結果は得られなかった。

A. 研究目的

黄斑疾患には様々なものがあるが、中でも加齢黄斑変性は重度の視力障害をきたしうる重大な疾患である。酸化ストレスなどがその発症にかかわるといわれている。油症患者における黄斑疾患の進行を検討するため、油症患者における黄斑形態の1年間における変化を調査した。

B. 研究方法

長崎県油症検診の3地区すなわち、玉之浦、奈留、長崎地区において2016年度油症検診の眼科部門を受診し、黄斑形態の評価が可能で、血中PeCDF濃度が得られ、さらに2017年度にも黄斑形態の評価が可能だったを143人を研究対象とした。網膜光干渉断層計(Optovue社 iVue-100)を用いて両眼の黄斑部の断層撮影を行った。対象者における黄斑形態の変化を調査した。

(倫理面への配慮)

本研究のデータ解析においては、個人が特定できるようなデータは存在しない。

C. 研究結果

対象者は男性72人、女性71人で、年齢は中央値67歳(18~89歳)であった。加齢黄斑変性は2人(1.4%)2眼にみとめ、どちらも滲出型ですでに治療中であり、1年間で1眼は改善し1眼は変化なかった。片眼または両眼に黄斑の形態異常を認めたものは8人(5.6%)11眼で、内訳は、加齢黄斑変性2眼、網膜色素上皮不整3眼、網膜色素上皮剥離1眼、脈絡膜陥凹1眼、嚢胞様黄斑浮腫2眼、黄斑上膜2眼であった。いずれも1年間で悪化はなかった。2016年度に黄斑形態異常がなかった135人において1年間で黄斑形態異常が生じた症例はなかった。

D. 考察

加齢黄斑変性は、加齢に伴い網膜の黄斑部に異常をきたした疾患の総称で、日本における視覚障害の原因の第4位である。加齢黄斑変性には、滲出型加齢黄斑変性と萎縮型加齢黄斑変性がある。網膜の後面にある網膜色素上皮は、網膜の視細胞の老廃物を貪食する作用がある

が、加齢や酸化ストレスなどにより、網膜色素上皮の機能障害が生じると、老廃物が貪食されずに沈着物質として増加し、血管内皮増殖因子も増加し、滲出型加齢黄斑変性の主な所見である脈絡膜新生血管の出現の基盤になる。網膜の直下で、脈絡膜新生血管から滲出や出血が生じ、黄斑部の網膜が傷害される。活動性のある脈絡膜新生血管は、加療しなければ網膜の不可逆性の機能障害を引き起こし、視力低下の進行も早い。特に滲出型は、網膜脈絡膜からの血管新生により、黄斑部に浮腫や炎症を伴う病変が発生し、急激な視力低下が起こる。

日本人の加齢黄斑変性の有病率は1.3% (久山町研究¹⁾) である。海外の調査では、オランダの55歳以上を対象にした調査で、有病率が1.7% (Rotterdam Eye Study²⁾)、オーストラリアでは1.9% (Blue Mountains Eye Study³⁾) となっている。今回の検討では143人中2人(1.4%)に加齢黄斑変性を認め、これまでの報告と同様であった。

加齢黄斑変性を示した2症例はすでに治療中で悪化したものはなかった。また黄斑形態異常がなかった症例のうち1年間で黄斑形態異常を生じた症例はな

かった。

今回の調査で油症患者において加齢黄斑変性を含む黄斑形態異常が進行しやすいという結果は得られなかった。黄斑疾患の進行に対してダイオキシンは影響しないことが示唆された。

E. 結論

油症検診受診者において、1年間での黄斑疾患の悪化および発生はなかった。

F. 研究発表 なし

G. 知的財産権の出願・登録状況 なし

参考文献

- 1) Yasuda M, et al. Ophthalmology. 2009; 116 (11) : 2135-2140act
- 2) VingerlingJR, et al: The prevalence of age-related maculopathy the Rotterdam Study Ophthalmology 102:205-210,1995
- 3) Mitchell P, et al: Prevalence of age-related maculopathy in Australia The Blue Mountains Eye Study Ophthalmology 102:1450-146